

令和5年度 前期 学校評価アンケート結果



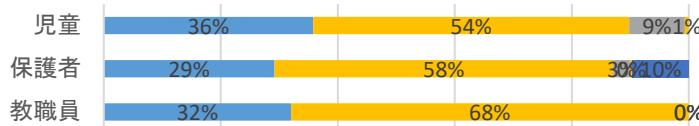
令和5年8月29日

京都市立西野小学校

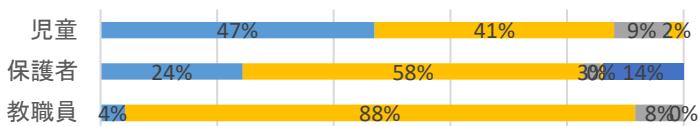
校長 山田 雅彦

令和5年度の前期学校評価の結果と考察をお知らせいたします。保護者の皆様には、Microsoft Forms による学校評価へのご協力、誠にありがとうございました。本紙では、児童・保護者・教職員を対象に行った同じ質問項目の結果を並べて、その結果と考察をお知らせいたします。なお、グラフの割合は左から「よくできている」、「だいたいできている」、「あまりできていない」、「できていない」、「わからない」としています。

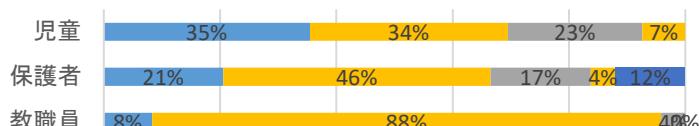
1 授業中、めあてに向かって進んで学習している



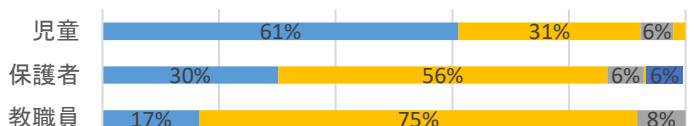
2 授業中、自分の考えをもてている



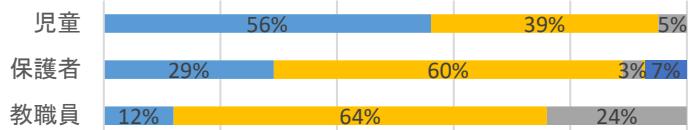
3 思ったことや考えたことを発表できている



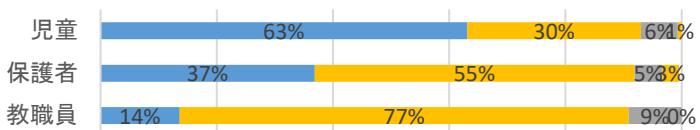
4 授業がわかり、楽しく学習している



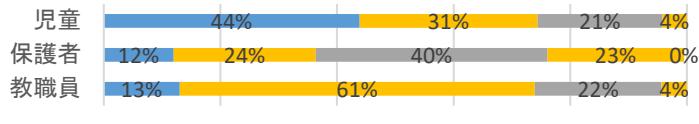
5 先生や友だちの意見をしっかり聞くことができている



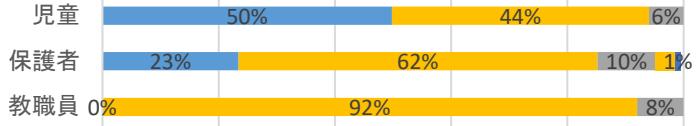
6 家で宿題や勉強をしている



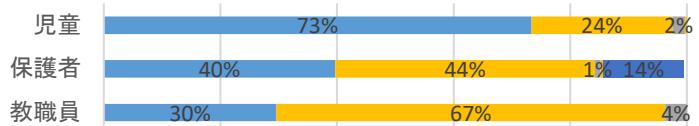
7 (保)家で本を読んでいる (児・教)学校で本を読んでいる



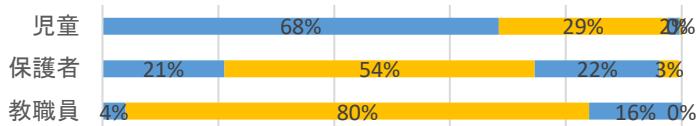
8 約束やルール、マナーを守っている



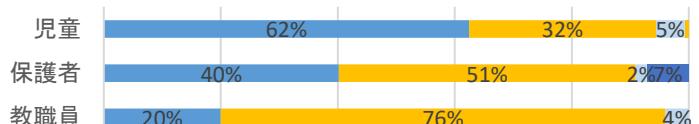
9 そうじや給食などの当番活動を進んでしている



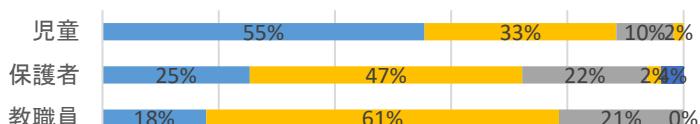
10 物を大切にしている



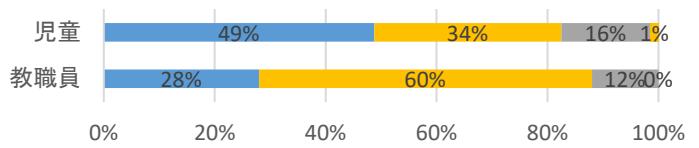
11 友だちを傷つけることなく、大切にしている



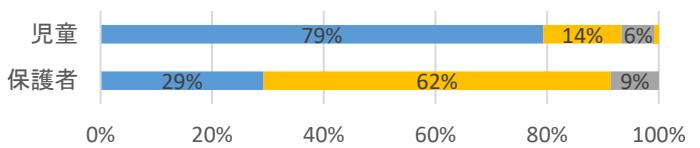
12 自分からあいさつをしている



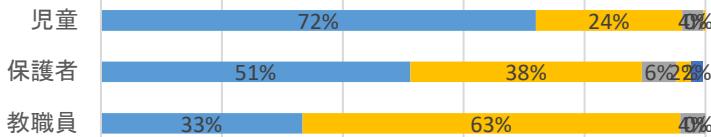
13 (児)学校で先生と話している (教)子どもと話をする時間もっている



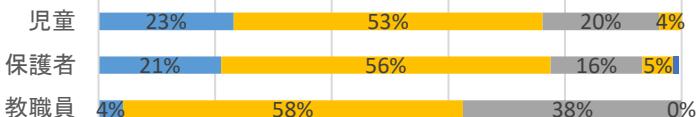
14 (児)家の人と話している (保)子どもと話をする時間もっている



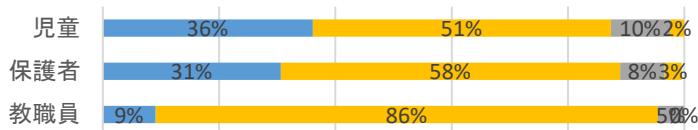
15 (児・教)学校で楽しく過ごしている
(保)子どもは、学校が楽しいと言っている



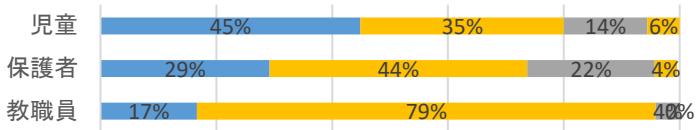
16 忘れ物をしていない



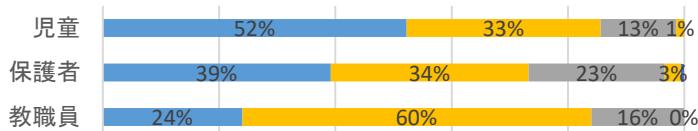
17 健康に気をつけている



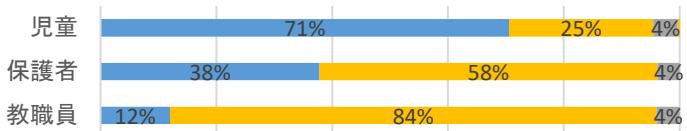
18 好き嫌いせずに食べている



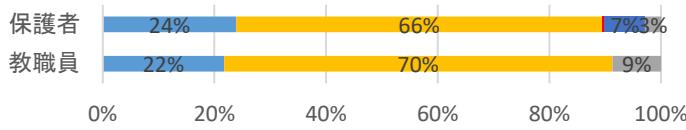
19 進んで運動をしている



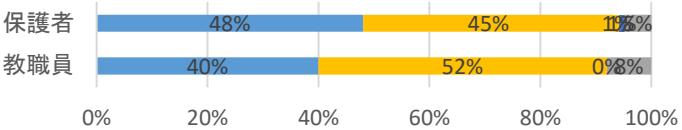
20 安全に気をつけて過ごしている



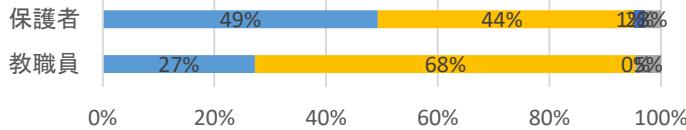
21 学校・家庭・地域が連携して子どもを育んでいる。



22 学校は、学級・学校だよりやホームページで学校の様子を伝えている。



23 (保)教職員は気軽に質問や相談がしやすい
(教)保護者が気軽に質問や相談がしやすいように関係づくりをしている



保護者自由記述欄より

今回は肯定的なご意見をたくさんいただき、学校といたしましても大変嬉しいです。引き続き一人一人を大切にしていく教育を進めて参ります。

- ・学習が意欲的になり、スポーツも目標に向かって取り組めるようになってきました。
- ・自分の子どもがしっかり担任の先生に愛してもらいうながら、毎日学校を楽しみながら、日々成長しに登校できていると思っています。
- ・少し心配をしていましたが、新たなクラスでちゃんと自分の居場所を見つけて過ごせているんだと安心しています。
- ・緊張していた小学校生活に先生やお友達のおかげでスムーズに溶け込んでいると思います。
- ・学校とPTAの共催である見守り活動につきまして、任意参加の活動に改革されました。多くの家庭がこの改革によって、助かったと思います。
- ・研究授業が学校全体として、とても多いように思います。

⇒教職員全体で授業研究に取り組むことにより、研究教科以外の授業力向上にもつながる考えています。今年度の取組は年度当初に計画し、進めておりますので、ご指摘の点につきましては、来年度への検討事項とさせていただきます。

結果の分析

以下の分析に関しまして、便宜上「よくできている」をA評価、「だいたいできている」をB評価、「あまりできていない」をC評価、「できていない」をD評価として記述いたします。

3者比較で児童と保護者・教職員の結果で最もA評価の割合が大きいのが前回の調査同様、設問10「物を大切にしている」かを問う設問です。児童は約70%がA評価であるのに対して、保護者のA評価は約20%、教職員に至っては約5%です。学校では無記名の落とし物が多く、職員室前に落とし物置き場があるものの持ち主が現れないことが少なくありません。その他にも自分の机やほうきなどの扱い方も気になります。自分の物は言わずもがなですが、みんなが使う者も大切にする気持ちをさらに高められるよう学校でも指導を続けていきます。

設問7「家で本を読んでいる」かという設問ですが、保護者のA・B評価が36%となっております。夏休みの宿題で読書の宿題を出しておりますが、お家でも継続的に読書に親しむ機会をつくっていただきたいです。テレビや動画視聴は、ただ流れてくる映像や音声を受けるのみとなり、子たちの想像力や思考力はなかなか育まれません。学校でも朝読書などの時間に本を読む習慣をつけてはいますが、ご家庭におかれましても、例えば寝る前の15分間は読書するなどの時間を創出してくださると良いと思います。

設問13・14「子どもと話す時間をもっている」かを問う設問では、教職員・保護者共にC評価が約10%ありました。子どもたちの日々の心情の変化を見取るには、対話は欠かせません。もちろん子どもたちの性格は一人一人違いますので、学校でも自分から教職員に話しかけてくれる子もいれば、そうしたくてもできない子もいます。担任は毎日必ずクラス全員の子どもと話す意識をもって、接していくたいと思っています。お家でも意識的にコミュニケーションをとっていただき、親子の絆を深めていっていただきたいです。

今春にとうとう新型コロナウイルスの扱いが5類となりました。小学生の発達段階は直接的なコミュニケーションをすること(できれば相手の表情を見て)がとても重要な時期です。早く全員が安心してマスクを外せる世相になってほしいです。

今回の学校評価アンケートの回答率は66%でした。今後もFormsを使ったアンケートを継続していく予定ですので、保護者の皆様には是非ご協力いただき、お声を学校に届けてくださいますようよろしくお願ひいたします。

